

## 阿蘇大橋地区復旧技術検討会の議事要旨

- 今回の地震被害の特徴は、阿蘇大橋地区に限らず尾根や斜面に亀裂が多い。
- 滑落崖の直上の亀裂は、今後の余震、降雨で拡大する恐れもあるので、調査、計測を行い不安定土砂の危険度の評価と監視が重要。
- 降雨時の地下水等の変動、ガリ浸食の発達状況について監視することが必要。
- 崩壊地頂部の崩壊拡大の監視のほか、崩壊斜面内の上部から落ちてくる土砂や流れてくる土砂を監視し、施工時の危険回避や被害を避けるための対策が必要。
- 今回の検討会で提示された監視観測計画・地質調査計画については概ね了承。